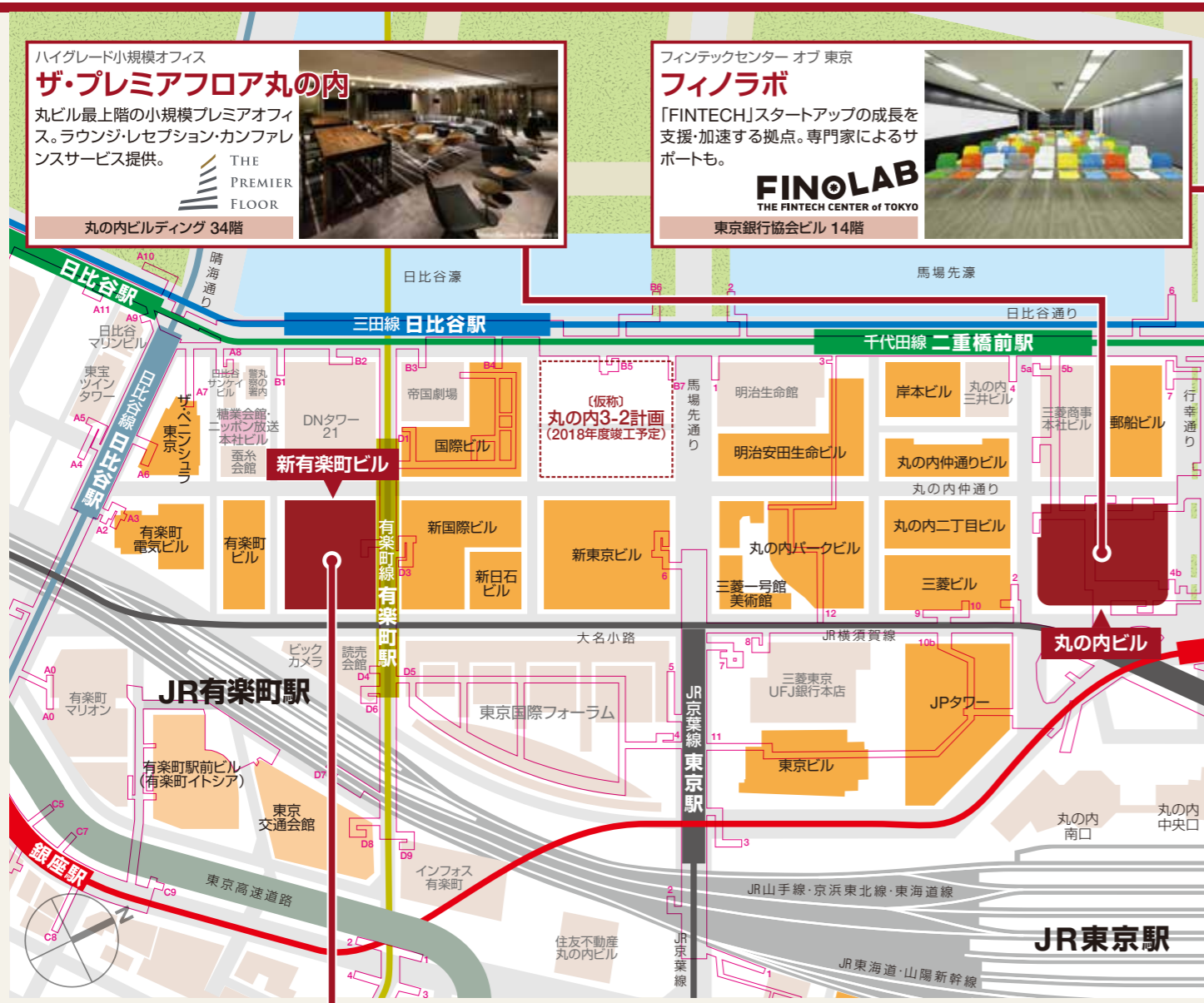


ダイバーシティ丸の内

～ イノベーションを加速する街 ～

AI、IOT、FINTECH等の新技術が台頭する現在。企業間の垣根を越えた新たなイノベーションの重要性が高まっており、企業のコラボレーションを引き起こすために、多種多様な企業群の集積＝ダイバーシティの推進が一層求められている。そうした中、三菱地所は、自営のコワーキング施設に加え、コワーキング施設を運営する企業を大丸有エリアに誘致し、「ダイバーシティ丸の内」のさらなる進化を目指す。大手金融機関やプロフェッショナルファーム、世界を代表する多くのトップ企業が集積する大丸有で、次代の経済を動かす改革が起こりつつある。

取材協力／資料提供：  **三菱地所株式会社**
ビル営業部 TEL.03-3287-5310



クリエイターズシェアオフィス
PORTAL POINT YURAKUCHO (株リアルゲイト)
 オフィス・リテール・MICE機能の融合が進んだ有楽町エリアで、ウインターズビル「新有楽町ビル」に2016年8月にオープンした「PORTAL POINT YURAKUCHO」。会社の規模を問わず、主にクリエイティブ性を求める職種を対象にデザイン性の高い空間を提供する。ニーズに合わせて、従業員30人程度の規模の企業向けのオフィス、1～5人程度のスモール、フリーランスなどのための固定デスクやフリーデスクの4つのプランから選択可能。コミュニティラウンジやミーティングルーム、コンシェルジュカウンターなど、ビジネスシーンをサポートする様々な共用部とサービスも充実させている。

 **PORTAL POINT**
TRANSIT SHARESTYLE OFFICE

コワーキングスペース+レンタルオフィス
Spaces大手町ビル (日本リージャス株)
 政府系金融機関、銀行、商社、マスコミの本社・本部が集中し、世界の金融センターの1つとされる大手町。そのシンボルである「大手町ビル」に、2016年秋にオープンするビジネスセンター「Spaces(スペースス)大手町ビル」。コワーキングスペースと100室以上の専用の個室型レンタルオフィス、さらにイベントスペース、ミーティングルームやパスタカフェを備え、入居者間の交流を促進する機能が満載。常駐するコミュニケーションマネージャーが、入居者同士の連携、ネットワークの構築をサポートする。

 **SPACES.**



有楽町駅直結ビルクリエイターズシェアオフィス

PORTAL POINT YURAKUCHO

〔新有楽町ビル〕



リアルゲイトの空間創造

弊社は現在、港区渋谷区中心にクリエイター向けのシェアオフィスを28物件企画・運営し、全物件高稼働を実現しております。アートなどの遊び心を加えた、個性的なインテリアデザインを得意とし、クリエイティブ性を求める職種をターゲットに、常に心地よい空間を創造しています。

そのようなクリエイターが集まる施設を「丸の内」に開設し、大企業と進取性の高い新興企業との距離感が近づくことで、働き方を含めて新しいモノ・コトが発信される環境を生み出していきたいと思えます。有楽町は、大手町、丸の内と比べて、よりコンパクトで人と人の距離、動と遊の距離が近く、PORTAL POINT YURAKUCHOのコンセプトでもあるCozy Placeの創出に当たり、最も親和性の高いエリアと感じています。

従来の「丸の内」を変える環境づくり

かつては大企業のオフィス街という印象の「丸の内」でしたが、ここ数年の開発で商業流入が加速した結果、高級・上質な空間や施設が数多く生まれました。土日にはファミリー層や若年層も集まる街へと変貌したように感じますが、私たちの考える「丸の内」に足りない要素は、平日でもよりリラックスした気持ちで働ける、ラフで遊び心のある空間や施設です。

PORTAL POINT YURAKUCHOは、敢えて「丸の内」という地域特性に左右されることなく、港区、渋谷区で培った弊社の運営物件の特徴をそのまま持ち込み、クリエイティブ性を刺激する空間を創造しています。格好良く言えば、「丸の内」のイメージを変えるために、一石を投じることができればと思っています。

従来の「丸の内」に少ない、いわゆるクリエイター系企業を誘致するには、交流促進等のサービスに目が行きがちですが、一方で、共用部のインテリアデザインや専有部のレイアウトの自由度などのハード面の工夫が重要だと考えています。クリエイティブな発想をする人たちは、合理的で画一的な空間からは新しい発想を生み出すことができません。心地よさを感じ、柔軟な発想を生み出せる場の提供が



重要で、そこで生まれたアイデアをもとに、自発的に協働していくことが自然と思えます。

またもう一つのポイントで言えば、見た目や男女比率も含めて、総合的に見て施設の雰囲気や価値観に合う人を入居者として迎えるということです。感度の高い人同士が集まれば、自然とさらに高い感度を持つ人呼び寄せていきます。そのような運営側としての環境づくりが必要なのではないのでしょうか。

働き方の変化に合わせた将来の事業展開

近年、会社の規模が小さくても、大企業とも対等に取引をする少数精鋭の事業者が増加しているように感じています。一方で、そのような事業者が満足するオフィスが不足しているようにも感じます。

弊社が運営するシェアオフィスでは、約30~40名規模のプライベートオフィスからフリーランス向けのフリーデスクまで、様々な業態・業種・働き方に合わせたプランを展開しています。今後もそんな環境を提供していくうえで、大手企業と少数精鋭でクリエイティブに働く人たちの距離を近づけ、お互いを刺激し合うことで、新しいアイデアが生まれ、まだ世の中になかった商品やサービスが発信される環境を生み出せばいいと思っています。

(取材協力/資料提供 株式会社リアルゲイト)



世界に展開するリージャスの丸の内 coworking スペース

SPACES 大手町ビル



日本リージャス株式会社
代表取締役 西岡 真吾 氏



SPACESのコンセプトと事業モデル

SPACES(スペースス)は、大手企業から、個人でビジネスを展開するフリーランスまで、幅広い層のビジネスワーカーが集う、リージャスが運営する coworking スペースです。また、集う入居者は、業種や分野が違々各々のプロフェッショナルであり、SPACESではその入居者同士で交流やネットワーク構築やコミュニティを形成することができます。

人と人、企業と企業がつながることができ、それがビジネスの飛躍や新たなアイデアの創出へと発展していく。SPACESは、この大手町ビルで、その「舞台」となる場を、今回、日本のビジネスの中心となる丸の内エリアにオープンいたします。

リージャスは現在、世界10拠点でSPACESを展開しており、年内にはさらに10拠点以上を開業予定です。そこでの経験やノウハウにより、お客様のあらゆるニーズにマッチできるワークスペースを用意することができました。SPACESでは集中してデスクワークに取り組むための専用の個室から、チームでの業務にも使える大型テーブル、交流のきっかけにもなるランチテーブルなど、ビジネスの状況に応じたワークスペースを自由・的確なタイミングでご利用いただけます。占有可能なデスクや、周りを気にせず電話ができるフォンブースなど、細かな点まで設備が充実しています。

さらに、入居者同士の交流やネットワーク構築、コミュニティの形成を促進する専属スタッフ、コミュニティマネージャーが常駐し、日々、入居者との交流を図り、必要に応じて入居者同士のコミュニケーションや交流会をサポートいたします。SPACESの利用価値を感じていただけるサービスの1つです。

今、日本で起きている働き方の変化への対応

昨今、オフィス環境やワークスタイルの変革が注目され、より機能的にオフィスを使い、より効率的に働くことに、「価値」を感じているビジネスパーソンは数年前に比べ多くなったと思います。一方、世界と比べて、日本人は通勤に掛ける時間が圧倒的に多いといわれ、また残業に掛ける時間も長く、効率的なワークスタイルという点では世界

に後れを取っています。

リージャスとしては、集中して仕事に取り組めるビジネスセンターを今の100拠点から、さらに全国へと充実させ、必要なときに必要な場所(街)で手軽に働く場所が持てるよう環境を整えてまいります。そして、テレワークが今以上にストレスなく実現でき、この日本で定着するよう努めます。

丸の内 × SPACESのコラボレーションによる可能性

丸の内には日本を代表する大手企業がお仕事を構え、多くのプロフェッショナルな人材が世界を相手に活躍しています。一方で、会社の垣根を越えてつながる場は限られていると思います。

丸の内には大きなビジネスチャンスがありながら、スタートアップ企業等は、敷居の高さも感じていることでしょう。交流の場を丸の内に設ければ、彼らは水を得た魚のように、その斬新なアイデアを持って活躍するのではないのでしょうか。

SPACES大手町ビルは、企業がその垣根を越えてつながる場であり、その価値を実感する場になります。会社も文化も全く違い、それぞれの畑で活躍してきたプロフェッショナル同士が、同じオフィスで仕事することで交流やコラボレーションが実現したとなれば、今までになかった大きな「化学反応」となり、丸の内のさらなる進化とともに、その効果は全国、世界へと一瞬で広がることでしょう。

(取材協力/資料提供 日本リージャス株式会社)



(計画中イメージ)